

2002年10月17日

報道用資料**米国自動車商品性評価で、フォードが5つのセグメントで第1位****2002年米国自動車商品性評価(APEAL)調査**

CS（顧客満足度）に関する調査・コンサルティングの国際的な専門機関である株式会社J.D. パワーアジア・パシフィック（本社東京、蓮見南海男社長、略称J.D. パワー）は、米国で実施された2002年自動車商品性評価（Automotive Performance, Execution and Layout、略称APEAL）調査の結果を発表した。

当調査は、米国の新車所有者を対象に、購入後90日間の車の性能やデザインに対するユーザー評価を調べるもので、7年目となった今年は117,800人以上の消費者から回答を得た。評価の内容は「外装/スタイリング」、「エンジンおよびトランスミッション」、「快適性および利便性」、「乗り心地、ハンドリング、ブレーキ」、「シート」、「空調システム（冷暖房、換気）」、「内装およびインパネ」、「オーディオ」の8分野で構成されている。

米国市場期待の3モデル、各セグメントでトップ

米国市場では、メーカーが期待をかけて投入した新型車が、フルサイズのモデルからコンパクトモデルに至る幅広いセグメントで期待とおりの高い評価を獲得していることが、調査結果から明らかになった。これらのうち新型ミニクーパー、キャデラック・エスカレードEXT、フォード・サンダーバードの3モデルがそれぞれのセグメントで第1位になった。全体では新たに市場に投入された車およびモデルチェンジした車31モデルのうち26モデルが、各セグメントで平均以上のスコアを得た。

米国では先鋭的なデザインやコンセプトが成果を挙げている。大胆なリスクを厭わず、革新的なコンセプトを車作りに活かせるメーカーが、消費者に支持される新しいイメージを作り上げつつある、とJ.D. パワーは分析している。

ホンダ、トヨタ、GM、それぞれ3セグメントで第1位

フォード・ブランド（リンカーンを含む）が5つのセグメントで、また米国ホンダ（アキュラを含む）、GM（キャデラック、GMCを含む）、米国トヨタ（レクサスを含む）の各ブランドがそれぞれ3つのセグメントで第1位にランクされた。

フォードの好成績はサンダーバードの印象的な市場デビューによって輝きを増した。サンダーバードは、今回の APEAL 調査で競争の激しい「エントリー・ラグジュアリー・カー」セグメントでトップになったのに加え、J.D. パワーが別途実施した「2002 年米国自動車初期品質調査」（略称 IQS 調査）でも同セグメントで第 1 位になっている。これは生産初年度の車としては極めて異例なことである。

その他の注目すべき点は以下の通りである。

- 「コンパクト・カー」セグメントでは、1998 年の市場投入以来トップを維持してきたフォルクスワーゲン・ビートルにかわり、新型ミニクーパーが第 1 位となった。
- 「フルサイズ・ピックアップ」セグメントでは、多機能性がユーザーに高く評価されていることがわかった。第 1 位のキャデラック・エスカレード EXT に続いて、第 2 位にもピックアップのクロスオーバー車（セダン、SUV、ミニバンの特徴が融合された車）であるシボレー・アバランチェがランクインした。
- 「エントリー・ミッドサイズカー」セグメントでは、モデルチェンジした現代のソナタが第 1 位となった。現代の車が APEAL ランキングでトップとなるのは今回が初めてである。第 2 位は起亜のオプティマで、起亜は初めて上位 3 位以内に入った。

<株式会社 J.D. パワー アジア・パシフィックについて>

当社は J.D. パワー・アンド・アソシエイツ（略称 JDPA、本社米国カリフォルニア州）の日本を含むアジア地域でのビジネスの拠点として 1990 年に設立された。自動車業界を始めコンピューター、通信関連、OA 機器、サービス産業、金融など様々な業界において顧客満足に関する調査やコンサルティングを実施している。インターネット上でホームページを開設しており、会社概要や提供しているサービスなどの情報を次のアドレスで入手できる。

J.D. パワー アジア・パシフィック ホームページ <http://www.jdpower.co.jp>

<本調査に関するお問い合わせ先>

(株) J.D. パワー アジア・パシフィック

コーポレート・コミュニケーション 安藤ノ川野

住 所： 東京都中央区日本橋富沢町 10-16 マイアーク日本橋ビル（〒103-0006）

電 話： 03-5695-4568

F A X： 03-5695-0617

e-mail： tando@jdpower.co.jp、mkawano@jdpower.co.jp

<ご注意>

本紙は報道用資料です。(株) J.D. パワー アジア・パシフィックの許可なく本資料に掲載されている情報および結果を広告または販促活動用に転用することを禁止します。

J.D. パワー・アンド・アソシエイツ 2002年米国自動車商品性評価(APEAL)調査SM

セグメント別ランキング トップ3モデル

コンパクト¹ 第1位: ミニクーバー フォルクスワーゲン ビートル トヨタ カローラ*
エントリー・ミッドサイズ 第1位: 現代 ソナタ 起亜 オプティマ フォルクスワーゲン ジェッタ
プレミアム・ミッドサイズ 第1位: トヨタ アバロン 現代 XG350 トヨタ カムリ
フルサイズ 第1位: フォード クラウンビクトリア マーキュリー グランドマーキー クライスラー コンコルド
エントリー・ラグジュアリー 第1位: フォード サンダーバード インフィニティ G35* レクサス ES 300
ミッド・ラグジュアリー 第1位: リンカーン タウンカー* BMW 5 シリーズ (同率) レクサス GS 300/GS 430 (同率)
プレミアム・ラグジュアリー² 第1位: レクサス LS 430 メルセデスベンツ CLクラス メルセデスベンツ SLクラス*
スポーティー 第1位: アキュラ RSX ポンティアック ファイアバード(同率) フォルクスワーゲン GTI (同率)
プレミアム・スポーツ 第1位: アウディ TT シボレー コルベット ボルシエ 911

コンパクト・ピックアップ 第1位: フォード エクスプローラースポーツトラック トヨタ タコマ ダッジ ダコタ
フルサイズ・ピックアップ³ 第1位: キャデラック エスカレード EXT シボレー アバランチ ダッジ ラムピックアップ LD
エントリー SUV 第1位: ホンダ CR-V 現代 サンタフェ トヨタ RAV4
ミッドサイズ SUV 第1位: トヨタ ハイランダー GMC エンボイ マーキュリー マウンテニア
フルサイズ SUV 第1位: フォード エクスカーション トヨタ セコイア シボレー タホ
ラグジュアリー SUV 第1位: キャデラック エスカレード レクサス LX 470 BMW X5
コンパクト・バン 第1位: ホンダ オデッセイ クライスラー タウン&カンントリー (同率) トヨタ シエナ (同率)
フルサイズ・バン 第1位: GMC サバナ フォード Eシリーズ シボレー エクスプレス

¹「コンパクト・カー」カテゴリーは、「エントリー・コンパクト・カー」および「プレミアム・コンパクト・カー」の両セグメントから成る。

²「プレミアム・ラグジュアリー・カー」カテゴリーは、「プレミアム・ラグジュアリー・カー」および「ラグジュアリー・スポーツ・カー」の両セグメントから成る。

³「フルサイズ・ピックアップ」カテゴリーは、「ライト・デューティ・フルサイズ・ピックアップ」および「ヘビー・デューティ・フルサイズ・ピックアップ」の両セグメントから成る。

* 2003年モデル

出典: J.D. パワー・アンド・アソシエイツ 2002年米国自動車商品性評価(APEAL) 調査SM

本紙は報道用資料です。J.D. パワー アジア・パシフィックの許可無く、本資料に掲載されているデータを広告および販促活動に転用することを禁止します。

報道で本資料に使用されている図表およびグラフを引用する際には、必ず、調査レポート発行者および出典(J.D. パワー・アンド・アソシエイツ 2002年米国自動車商品性評価調査SM)を明記して下さい。